

盛岡市の公共施設マネジメント の推進について

盛岡市財政部資産管理活用事務局
上森貞行

I 盛岡市の現状

■沿革

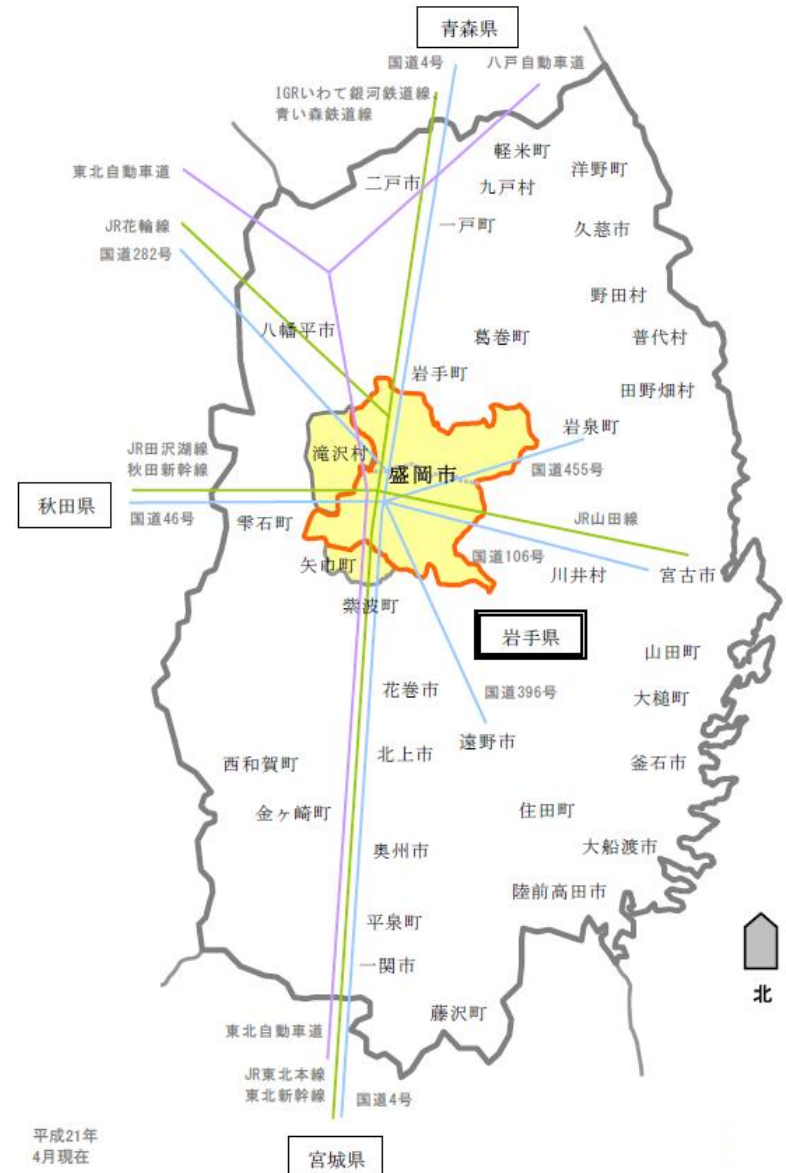
- ・平成4年 都南村と合併
- ・平成18年 玉山村と合併
- ・平成20年 中核市へ移行

■基礎データ

- ・位置 岩手県の内陸中心部に位置
県庁所在地
- ・人口 298,348人(国勢調査ベース)
- ・面積 886.47K m^2
- ・財政規模 1,111億円(H28当初一般会計)
- ・施設保有量 112万 m^2 (H27行政財産)

■特徴

- ・県庁所在地
広域施設を保有, 県有施設も数多く所在
- ・市域の広さ
46番目 / 1719市町村
- ・うち森林面積は650K m^2 (市域の73%)
都市部、郊外、中山間まで多様な地域が存在



Ⅱ これまでの取り組み

21年度	自治体経営の指針及び実施計画の策定 公共施設の配置のあり方の検討、維持管理手法の具体化を行うことを定める
22～ 23年度	岩手県立大学盛岡市まちづくり研究所で調査研究 具体化手法を研究し、長寿命化と総量縮小が有効であると提言を受ける
24年度	資産管理活用事務局の設置 専任組織を設置し、公共施設の利用状況や経営状況、建物状況の収集・分析
25年度	公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針策定 目指すべき施設保有の姿など基本方針を定める
	市民討議会開催 「考えよう！みんなの建物の未来」をテーマに、幅広い市民意見を聴取
	公共施設利用運営状況（施設カルテ）公表 24年度に収集した情報を分析して公表
26年度	公共施設等マネジメント推進会議開催 有識者らの意見を聞く会議を開催（26年度は全5回）
	公共施設保有最適化・長寿命化長期計画策定 施設用途別の方向性などを定める

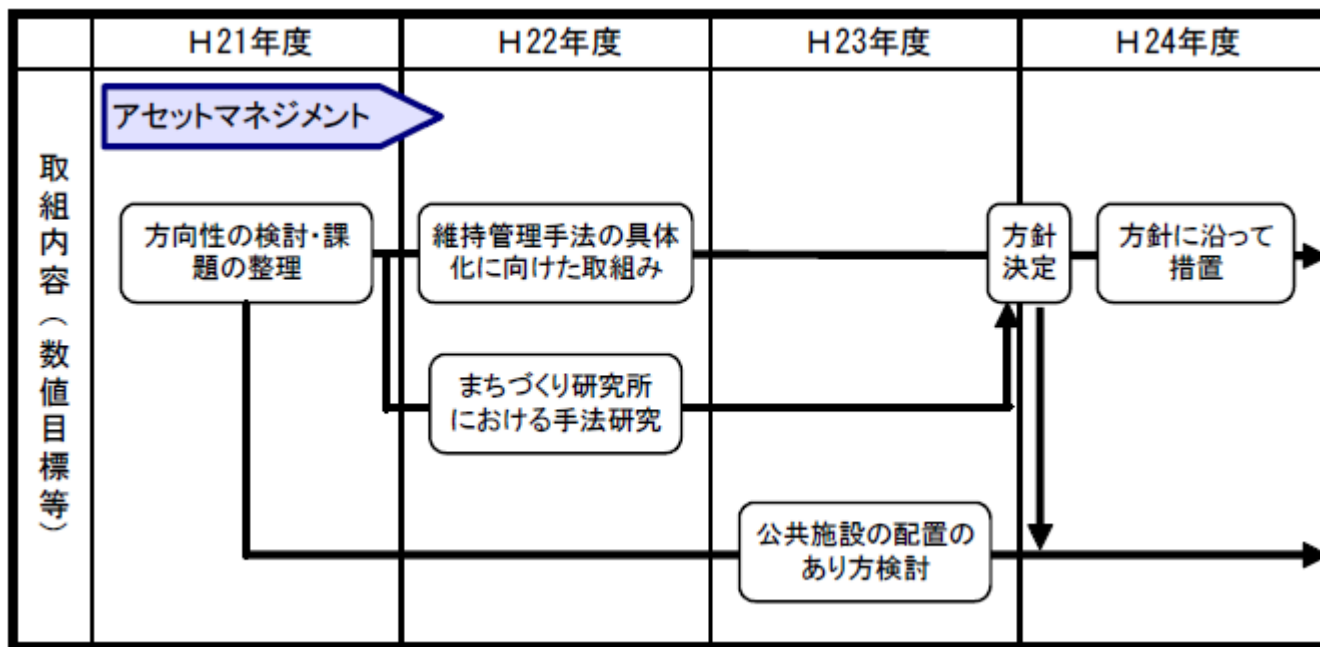
Ⅱ これまでの取り組み

27年度	市民フォーラムの開催 公共施設の在り方を考える講演やパネル討論会を開催(延べ210人参加)
	市民意見交換会の実施 市内30地区で、長期計画の説明と中期計画などを策定するための意見交換会を実施(延385人が参加)
	公共施設保有最適化・長寿命化中期計画(案)公表 施設ごとに見直しの方向性や工事の実施を定めた10年間の計画案を公表
	中期計画(案)に係る市民説明会 市内32地区ごとに計画内容を説明(全10回延365人が参加)
	中期計画(案)のパブリックコメントを実施
	公共施設保有最適化・長寿命化中期計画の策定
	公共施設保有最適化・長寿命化実施計画の策定 中期計画を円滑に推進するため、向こう3年間に実施する事業を定める計画
28年度	計画実施

H21 自治体経営の指針及び実施計画

■ 公共施設アセットマネジメントの推進 (6つの柱の1つ)

全庁的な視点のもとに施設の維持管理のさらなる効率化や更新費用の低減、平準化を進め、コストと便益の最適化を図りつつ公共施設を管理・活用するための取組みを進める。



H22,23 盛岡市まちづくり研究所(岩手県立大学)

「長寿命化」と「総量縮小」の組み合わせこそが、限られた財源を有効に活用して市民サービスの質を維持・向上させる有効な手法であると提言

取組内容		1年目	2年目	3年目以降
●施設保有の最適化に向けた取組み		→		
①基本情報の収集及び公開	基本方針策定		→	
	基本情報収集(一元化)		→	
	施設白書作成		→	
②施設評価	建物性能評価		→	
	利用度評価		→	
	施設評価調整シート作成		→	→
③多目的利用・複合化の検討	現地調査等定性的情報収集		→	→
	全庁横断的な検討			→
	多目的利用・複合化決定			→
④長寿命化	劣化診断	→	→	→
	更新優先順位付		→	→
	更新工事手法検討			→
	更新計画作成			→
●経常的修繕・新規整備への対応		→		



14自治体, 2省庁, 5団体, 6大学の協力を得て研究 研究成果報告書はこちら↓
http://www.city.morioka.iwate.jp/dbps_data/_material/_files/000/000/003/555/houkokusho-h23.pdf

H24 資産管理活用事務局設置・基本情報の収集

○財政部に専任組織を設置

事務3名，建築士2名により資産管理活用事務局を組織

○基本情報の収集

(1)資産管理基本情報収集事業(委託3,200万円)

- ・「建物性能」「利用実態」「運営コスト」を収集
- ・現地調査(写真・図面を収集)調査員15名
- ・施設カルテの作成
- ・保全の優先順位づけの指標整備
- ・施設評価のための指標整備

貸付関係							
稼働率(%)	74.4	(面積加重平均)		コマ数	平成23年度		
					平日	土日祝	合計
貸付単位	貸付施設(部屋)名	広さ	収容人数	稼働率	利用数	利用可能数	
団体・個人	体育館	459㎡	350人	93.2	2,739	88.7	3,953
団体・個人	第一集会室	32㎡	25人	25.9	762	19.5	1,033
				23.8	2,940	1,368	4,308
				23.8	2,940	1,392	4,332

施設評価シート												平成23年度																																											
施設コード		421				利用用途別分類		学校																																															
施設名		〇〇小学校				利用圏域別分類		コミュニティ地区圏域																																															
基礎評価																																																							
建物性能 (縦) / 利用実態 (横)	評価結果	廃止		評価指標				参考指標																																															
		建物性能	評価指標	平成23年度	偏差値	平均	保全状況調査	点数	順位等																																														
<table border="1"> <tr><td>築年数</td><td>38.9</td><td>年</td><td>40.2</td><td>24.4</td><td>年</td><td>総合評価</td><td>38.9</td><td>385/425</td></tr> <tr><td>劣化状況(保全調査)</td><td>38.9</td><td>点</td><td>36.9</td><td>66.7</td><td>点</td><td>建築</td><td>20.18</td><td>371/425</td></tr> <tr><td>耐震状況</td><td>2.3</td><td>点</td><td>26.3</td><td>4.4</td><td>点</td><td>電気</td><td>6.66</td><td>388/425</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>機械</td><td>12.14</td><td>354/425</td></tr> <tr><td>総合評価(偏差値)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>34.5</td><td>6</td><td>40.3</td></tr> </table>	築年数		38.9	年	40.2	24.4	年	総合評価	38.9	385/425	劣化状況(保全調査)	38.9	点	36.9	66.7	点	建築	20.18	371/425	耐震状況	2.3	点	26.3	4.4	点	電気	6.66	388/425							機械	12.14	354/425	総合評価(偏差値)							34.5	6	40.3	バリアフリー率(標準)	6	40.3					
築年数	38.9	年	40.2	24.4	年	総合評価	38.9	385/425																																															
劣化状況(保全調査)	38.9	点	36.9	66.7	点	建築	20.18	371/425																																															
耐震状況	2.3	点	26.3	4.4	点	電気	6.66	388/425																																															
						機械	12.14	354/425																																															
総合評価(偏差値)							34.5	6	40.3																																														
1次評価	分類の種類	<p>緑丸：建物性能が高く、利用状況も高い。 赤丸：建物性能が低い、利用状況は高い。 黄丸：建物性能が高いが、利用状況は低い。 黒丸：建物性能が低く、利用状況も低い。</p>	利用状況	評価指標	平成23年度	偏差値	平均	参考指標	値	偏差値																																													
			<table border="1"> <tr><td>園児・児童・生徒数</td><td>288.0</td><td>人</td><td>49.1</td><td>309.5</td><td>人</td><td>同体利用及び自主事業に係る実利用者数</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>高齢者(65歳以上)の利用者数</td><td>0.003</td><td>人(戸)</td><td>49.2</td><td>0.0</td><td>人(戸)</td><td>同推定実利用者数</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>面積当り利用量</td><td>0.041</td><td>人(戸)</td><td>47.0</td><td>0.1</td><td>人(戸)</td><td>同平均利用回数</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>総合評価(偏差値)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>48.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	園児・児童・生徒数	288.0	人	49.1	309.5	人	同体利用及び自主事業に係る実利用者数	—	—	高齢者(65歳以上)の利用者数	0.003	人(戸)	49.2	0.0	人(戸)	同推定実利用者数	—	—	面積当り利用量	0.041	人(戸)	47.0	0.1	人(戸)	同平均利用回数	—	—	総合評価(偏差値)							48.4						管理運営コスト	評価指標	平成23年度	偏差値	平均	参考指標	値(千円)	順位				
園児・児童・生徒数	288.0	人	49.1	309.5	人	同体利用及び自主事業に係る実利用者数	—	—																																															
高齢者(65歳以上)の利用者数	0.003	人(戸)	49.2	0.0	人(戸)	同推定実利用者数	—	—																																															
面積当り利用量	0.041	人(戸)	47.0	0.1	人(戸)	同平均利用回数	—	—																																															
総合評価(偏差値)							48.4																																																
2次評価	地理的特性	<p>周辺施設の状況</p>	使用料等の割合	3.819	%	48.0	5.7	%	1階層当たり市総負担額	—	—																																												
			<table border="1"> <tr><td>建物1㎡当りの市総負担額</td><td>11,878</td><td>千円</td><td>53.0</td><td>17.8</td><td>千円</td><td>市総負担額</td><td>83,611</td><td>49/78</td><td>構成比</td><td>—</td></tr> <tr><td>利用量当りの市総負担額</td><td>290,316</td><td>千円</td><td>52.9</td><td>634.6</td><td>千円</td><td>施設に係るコスト</td><td>9,536</td><td>46/78</td><td>11.2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>事業運営に係るコスト</td><td>9,668</td><td>37/78</td><td>11.3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>人に係るコスト</td><td>24,435</td><td>45/78</td><td>28.6</td></tr> <tr><td>総合評価(偏差値)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>人にかぶる費用等</td><td>41,656</td><td>52/78</td><td>48.8</td></tr> </table>	建物1㎡当りの市総負担額	11,878	千円	53.0	17.8	千円	市総負担額	83,611	49/78	構成比	—	利用量当りの市総負担額	290,316	千円	52.9	634.6	千円	施設に係るコスト	9,536	46/78	11.2							事業運営に係るコスト	9,668	37/78	11.3							人に係るコスト	24,435	45/78	28.6	総合評価(偏差値)						人にかぶる費用等	41,656	52/78	48.8	周辺施設
建物1㎡当りの市総負担額	11,878	千円	53.0	17.8	千円	市総負担額	83,611	49/78	構成比	—																																													
利用量当りの市総負担額	290,316	千円	52.9	634.6	千円	施設に係るコスト	9,536	46/78	11.2																																														
						事業運営に係るコスト	9,668	37/78	11.3																																														
						人に係るコスト	24,435	45/78	28.6																																														
総合評価(偏差値)						人にかぶる費用等	41,656	52/78	48.8																																														
利用実態	<p>所在地域の人口予測(人)</p>	松園	平成12	平成17	平成22	平成27	平成32	平成37	平成42	平成47	H37/H22	H47/H22																																											
		<table border="1"> <tr><td>0~14歳</td><td>4,090</td><td>3,210</td><td>2,691</td><td>2,454</td><td>2,245</td><td>1,999</td><td>1,695</td><td>1,422</td><td>74.3</td><td>52.8</td></tr> <tr><td>15~64歳</td><td>14,485</td><td>14,064</td><td>12,719</td><td>11,161</td><td>9,866</td><td>8,865</td><td>7,961</td><td>7,287</td><td>69.7</td><td>57.3</td></tr> <tr><td>65歳~</td><td>2,117</td><td>2,997</td><td>4,265</td><td>5,762</td><td>6,911</td><td>7,645</td><td>8,024</td><td>7,890</td><td>179.2</td><td>185.0</td></tr> <tr><td>地域合計</td><td>20,692</td><td>20,271</td><td>19,675</td><td>19,377</td><td>19,022</td><td>18,509</td><td>17,680</td><td>16,599</td><td>94.1</td><td>84.4</td></tr> </table>	0~14歳	4,090	3,210	2,691	2,454	2,245	1,999	1,695	1,422	74.3	52.8	15~64歳	14,485	14,064	12,719	11,161	9,866	8,865	7,961	7,287	69.7	57.3	65歳~	2,117	2,997	4,265	5,762	6,911	7,645	8,024	7,890	179.2	185.0	地域合計	20,692	20,271	19,675	19,377	19,022	18,509	17,680	16,599	94.1	84.4	区分	昭和55	昭和60	平成2	平成7	平成12	平成17	平成22	平成23
0~14歳	4,090	3,210	2,691	2,454	2,245	1,999	1,695	1,422	74.3	52.8																																													
15~64歳	14,485	14,064	12,719	11,161	9,866	8,865	7,961	7,287	69.7	57.3																																													
65歳~	2,117	2,997	4,265	5,762	6,911	7,645	8,024	7,890	179.2	185.0																																													
地域合計	20,692	20,271	19,675	19,377	19,022	18,509	17,680	16,599	94.1	84.4																																													
<table border="1"> <tr><td>利用者数長期推移</td><td>1,242</td><td>996</td><td>762</td><td>572</td><td>393</td><td>372</td><td>305</td><td>288</td><td>24.6</td><td>40.0</td></tr> </table>	利用者数長期推移	1,242	996	762	572	393	372	305	288	24.6	40.0	長期推移の変動要因	少子高齢社会の進展により、児童数が減少傾向にあるため																																										
利用者数長期推移	1,242	996	762	572	393	372	305	288	24.6	40.0																																													

H24 資産管理活用事務局設置・基本情報の収集

(2)保全状況調査事業(直営880万円)

・臨時職員6名(うち建築士3名)を雇用 ・施設の保全状況を把握(819棟)

施設保全状況調査票 (Ver 2.1)				総合評価 (③+⑥+⑨)		38.2
施設名/棟名	〇〇小学校		調査日	2012/6/28		小点数以下2位を四捨五入して小点数以下1位にする
施設番号/棟番号/枝番号	431	001	管理者			耐震基準→ C
住所	△△		調査者			新耐震・補強済み:A 旧耐震で補強計画中:B 旧耐震で補強計画無し:C
建築	14	←①評価点小計	36	←②対象項目満点	19.44	←③50点満点換算(①/②×50)小点数以下3位切捨て
屋根	3	陸屋根 →ステンレス →アス防+押さえコ →金属板書き ←屋根種別	5:問題なし	4:劣化有り問題なし	3:小さな亀裂あり 3:コンクリート破損あり ④錆面積が30%	1:亀裂多数で雨水浸入 1:破損広域、目地破損 1:錆面積70% 0:雨漏りあり、早急に修繕 0:雨漏りあり、早急に修繕 0:全面錆あり、漏水
躯体	0	RC-SRC 鉄骨造 ←躯体種別	5:問題なし	4:1ミリ以内のクラック	3:1ミリを超えるクラック 3:構造体錆50%未満 3:雨の掛かる部分有	1:クラック錆汁鉄筋露出、浮き 1:構造体錆50%以上有り 1:木部腐食多、防蟻剤未 0:剥落あり人身危険、浸水 0:錆深刻、ホルト、プレス破損 0:劣化・蟻食害 傾斜浸水
外壁	1	タイル、モルタル、サイディング ←外壁にタイル(有・無) ←外壁種別	5:問題なし	3:塗装退色シール劣化 一部又は一面	2:塗装退色、シール劣化 サイディングにクラック	1:剥落の恐れ、人身安全 1:木部腐食多、防蟻剤未 0:剥落有、人身危険、浸水 0:劣化・蟻食害 傾斜浸水
屋外部品	1	手摺、笠木、雨樋、外部鉄骨階段、EXP-J ←屋外部品 選択	5:問題なし	3:問題なし	3:問題なし	1:劣化、グラつき、人身安全 0:落下、人身危険
外部建具	3	動作、防水、材質	5:問題なし	3:問題なし	3:問題なし	1:劣化、浸水、動作不良 0:落下恐れ、危険、スチール窓枠
経過年数	6	建築年数(大規模改修0年)	15:~10年	13:11年~20年	10:21年~30年	6:31年~40年 0:41年~
コメント:各所に鉄筋露出、モルタル落下が見られる。手摺に錆あり。外部塗装の劣化が激しい。軒天換気口に網無し。妻側ボード張り部分割がれあり。						
電気設備	4	←④評価点小計	15	←⑤対象項目満点	6.66	←⑥25点満点換算(④/⑤×25)小点数以下3位切捨て
受変電キュービクル	0	業者点検状態	5:問題なし		3:点検業者指摘あり	2:発熱、異音 0:耐用年数経過
エレベーター	無	業者点検状態	5:問題なし		3:点検業者指摘あり	0:使用停止
自家発電機・類	無	業者点検状態	5:問題なし		3:点検業者指摘あり	2:本体使用制限・応急処置 0:使用停止
経過年数	4	建築年数(大規模改修0年)	10:~10年	8:11年~20年	6:21年~30年	4:31年~40年 0:41年~
コメント:						
機械設備	17	←⑦評価点小計	35	←⑧対象項目満点	12.14	←⑨25点満点換算(⑦/⑧×25)小点数以下3位切捨て
給水給湯	3	★給水給湯改修(ヒアリング) 年、書類上	5:問題なし	③一部配管で支障	2:錆水発生	1:本体使用制限・応急処置 0:使用停止
排水・衛生	3	★排水衛生改修(ヒアリング) 年、書類上	5:問題なし		③一部配管・器具支障	2:応急、臭気、封水無、破損 0:使用停止
冷暖房換気	3	★冷暖房改修(ヒアリング) 年、書類上	5:問題なし		③一部配管で支障	2:本体使用制限・応急処置 0:使用停止
水槽等	2	受・高架水槽、ポンプ ★水槽改修(ヒアリング) 年、書類上	5:問題なし(業者点検実施)		②劣化・錆・一部漏水	0:耐用年数経過
浄化槽	無	業者点検状態	5:問題なし		3:点検業者指摘あり	0:使用停止
経過年数	6	建築年数(大規模改修0年)	15:~10年	13:11年~20年	10:21年~30年	6:31年~40年 0:41年~
コメント:経年経過で配管は支障ありとする。便器の割れあり。受水槽パネルに劣化がある。						

H25 公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針

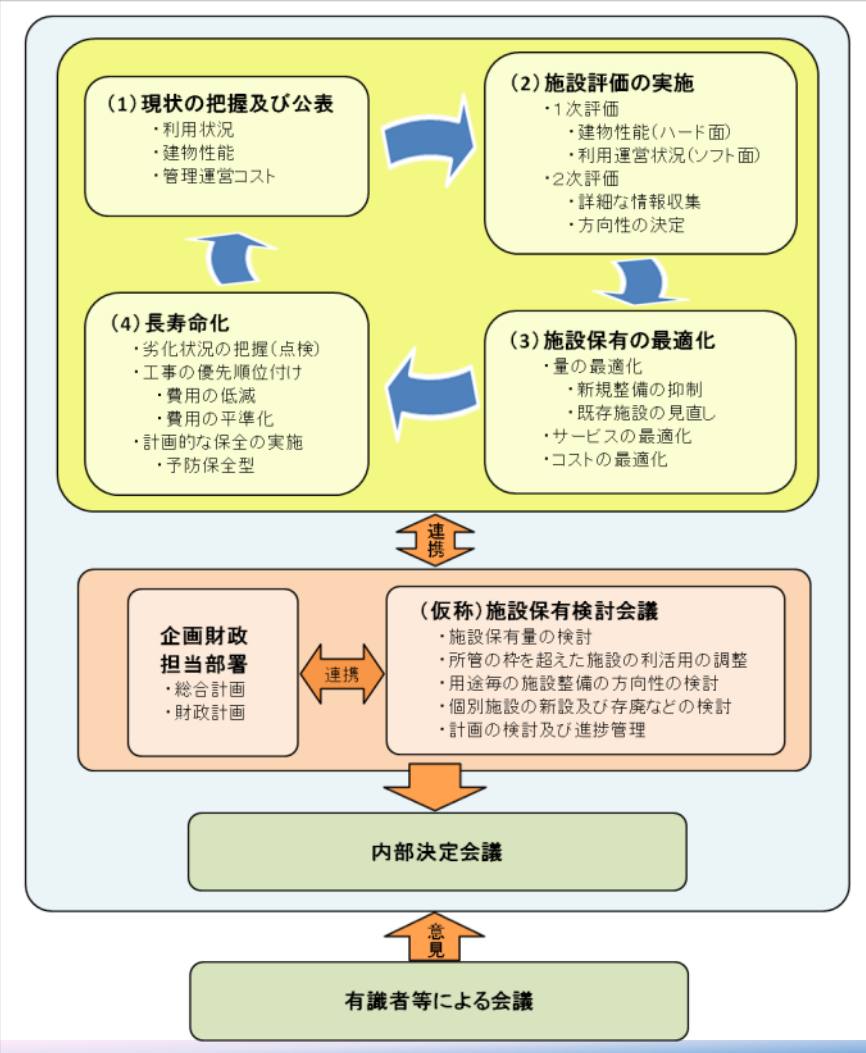
目指すべき施設保有の姿

- ①次世代に継承可能な施設保有（量の最適化）
- ②ニーズの変化に対応した住民サービスの提供
（サービスの最適化）
- ③効果的で効率的な施設運営（コストの最適化）
- ④安全に使用できる施設整備（性能の最適化）

新規整備の抑制(新規の設置及び取得は、原則行わない)
既存施設の見直し(施設評価の実施)
などを定める。

H25 公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針

○取組イメージ



<参考：方針決定の流れ>

○方針案を広報に掲載(2013年4月1日号)

公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針案

作成しました。その概要をの紹介します。知は建設部生活事務科。

目指すべき施設保有の姿
①効率的に維持管理を推進する。②省資源型施設に転換し、環境にやさしい施設を推進する。③コスト削減を図り、市民負担を軽減する。④省資源型施設に転換し、環境にやさしい施設を推進する。⑤コスト削減を図り、市民負担を軽減する。

取組み内容

1 公共施設の現状
本市が保有する公共施設は、市民生活に不可欠な施設であり、その維持管理は重要な課題です。近年は施設の老朽化が進み、維持管理コストが増加しています。また、市民からの要望も増えています。

2 施設評価の実施
公共施設の現状を把握し、施設の性能や利用状況を評価します。評価の結果に基づき、施設の最適化や長寿命化の方向性を決定します。

3 劣化施設・人口減少社会への対応
劣化した施設の修繕や、人口減少に伴う施設の廃止を検討します。また、人口減少に伴う施設の活用も検討します。

4 長寿命化の実現
施設の長寿命化を実現するために、省資源型施設に転換し、環境にやさしい施設を推進します。また、施設の活用も検討します。

これらの流れから、関係機関等との連携を推進し、市民生活に貢献します。また、市民からの要望も増えています。また、市民からの要望も増えています。

H25 市民討議会の開催

計画策定にあたり市民討議会「考えよう！みんなのタテモノの未来～共に考え・語ろう！公共施設のこれから～」を開催

【1日目】 平成25年10月12日（土曜日） 9時30分から16時15分まで

【2日目】 平成25年10月27日（日曜日） 9時30分から15時48分まで

盛岡青年会議所と協働で開催し、施設の現地視察や専門家などからの情報提供を受けながら公共施設の老朽化問題への対応策を検討



18歳以上の市民3000人に案内し応募のあった市民134人から抽選により44人を選出（当日は18歳～80歳代までの36人が参加）



討議結果は市民提言書にまとめられ市長に提出されました。市民提言書はこちら↓
<http://www.city.morioka.iwate.jp/machizukuri/28638/index.html>

H25 市民討議会の開催(当日の構成)

○平成25年10月12日(土)【1日目】

9:30～ 9:45	開会式・説明
9:45～ 12:00	<p>現地視察① 大新小学校(10:10～) 【説明】大新小学校校長 佐々木 健 様</p> <p>現地視察② 厨川児童・老人福祉・地区活動センター(10:50～) 【説明】同センター所長補佐兼館長補佐 石川 孝 様</p> <p>現地視察③ 青山二丁目アパート青山三丁目アパート(11:20～) 【車内説明】実行委員会委員</p>
12:00～ 12:45	昼食
12:45～ 13:50	「テーマ1 (練習討議) 公共施設の視察を行い感じたこと。」 話し合い・発表・投票
14:05～ 14:30	「テーマ2 公共施設の老朽化問題に、今後どのように取り組んでいくべきか。」【情報提供】実行委員会委員 盛岡青年会議所 理事 吉田 光晴
14:30～ 16:05	テーマ2話し合い・発表・投票
16:05～ 16:15	閉会式・事務連絡

○平成25年10月27日(日)【2日目】

9:30～ 9:56	開会式・説明
9:57～ 10:11	<p>前回の振り返り 【情報提供】実行委員会委員 盛岡青年会議所 理事 吉田 光晴</p>
10:12～ 10:51	<p>「テーマ3 地域で利用している施設を、どのように見直していくべきか。」 【情報提供】 地域利用施設の再整備の観点について 日本大学経済学部教授 中川 雅之 様</p>
11:02～ 12:30	テーマ3話し合い・発表
12:30～ 13:15	投票・昼食
13:15～ 13:56	<p>「テーマ4 全市的に利用している施設を、どのように見直していくべきか。」 【情報提供】 全市利用施設の再整備の観点について 日本大学経済学部教授 中川 雅之 様</p>
13:57～ 15:26	テーマ4話し合い・発表・投票
15:40～ 15:48	閉会式・事務連絡

H25 市民討議会の開催（討議結果）

公共施設の老朽化問題に、今後どのように取り組んでいくべきか？

1位 複合化・多目的利用を行う 25票

今後は複合施設として建設する

大型商業施設とコラボする(大型商業施設内に公共施設を入れる)

他の目的にも共通して使える施設配置とする

公営アパートは、増加する空き家を利用する

2位 市民の問題意識の向上が必要 18票

箱物を作ることを利用者も良く考えることが必要

問題を分かりやすく広報する

市側に要求するだけでは良くない

3位 統廃合が必要 16票

必要施設を選別しなければならない

施設の必要性の検討、分析をすべき

類似する施設は統廃合する

施設を不要・必要・新たに必要に分ける

4位 価値のある古いモノを生かす

5位 長期展望・計画をつくる

5位 生産年齢人口を増やす

5位 人材育成が必要

8位 老朽化対策の総合的機関を設置する

9位 リサイクルを考慮した建設を行う

9位 税外収入を確保する

11位 税財源を見直す(工場誘致)

12位 利用者の料金負担を行う

12位 解体・修繕を行う

14位 環境に配慮した住みやすい町

14位 外部委託により施設維持費を削減する

14位 新設は拡大展開しない

14票

11票

11票

11票

9票

8票

8票

7票

5票

5票

4票

4票

4票



テーマ：公共施設の老朽化問題に、今後どのように取り組んでいくべきか。

案の名称	投票数
1 現状分析(施設ごとの老朽化) 必要な施設を個別に統廃合	10
2 外部委託による施設維持費の削減(サービス向上)	4
3 生産年齢人口を増やすための施策(若年層の移住促進) (若年層の移住促進) (若年層の移住促進)	11

期待したい意見
市の工場の誘致、税金の削減

H25 市民討議会の開催（討議結果）

地域で利用している施設を、
どのように見直していくべきか？

1位 統廃合と民間委託について、
具体的に検討する **16票**

不要なハコ物は 思い切って解体 する。土地は売 却又は貸出する	児童・老人・地区 活動センターを統合 し地域住民の集 いの場にする	統合することによ って世代間交 流が出来るの ではないか	管理運営は民 間活力を利用 する
--	--	---------------------------------------	------------------------

2位 施設の機能（サービス）は維持し、
設備（ハコ）は簡素化・集約する **14票**

地域で利用できる 施設を1つに 集約する	学校を統廃合し ても良いのでは 距離を考慮中心 に配置する	老朽化したもの は隣接地区と併 合する	デマンドバスの 活用で施設の エリアを広める
----------------------------	--	---------------------------	------------------------------

3位 施設の区割りを見直し広域化を行う **13票**

将来(地域人口財 政等)を見通した まちづくりを行う	小・中学校の学 区の見直しを行 う	地域を再編する 2,3地区を1つ にする	広域化に対応し、 情報・交通サー ビスを充実する
----------------------------------	-------------------------	----------------------------	--------------------------------

3位 既存・新築の統合複合 **13票**

学校の図書館・ プール・体育館 をみんなで使う	児童センターを なくし、小中学 校の中に入れる	老人福祉施設も 小中学校に入れ る	市営住宅の1階 に児童・老人施 設をつくる
-------------------------------	-------------------------------	-------------------------	-----------------------------

3位 民間との協力 **13票**

ショッピングセンターと 公民館を併設す ると、利用率の 確保につながる	新しく建てる際 は、コンビニや レストランなど を入れる	体育館を民間の スポーツジムな どに運営を任せ、 収入を得る
--	---------------------------------------	---

6位 利用目的・利用形態を考える（公民館） **12票**
7位 利用率にとらわれない姿勢 **10票**
8位 交通手段の利便性を考える **9票**
9位 小中学校を基本にして施設を見直す（学校を地域で利用） **7票**

（以下省略）

全市的に利用している施設を、
どのように見直していくべきか？

1位 施設機能の積極的な対外PRを行う **16票**

利用してもらえ ようPRが必要	オンライン化やIT化に よる情報周知を行う ネット利用して積極 的に全国展開する	施設へのアクセ スを充実させる
--------------------	---	--------------------

2位 施設利用の広報活動をする **16票**

各施設のPRが不 足している	指定管理者の活 動方針が良く分か らない
-------------------	----------------------------

3位 施設統廃合による不便は、デマンドバスの
導入でサービスを落とさない(IT活用) **13票**

施設を減らした経費 で、バスを導入して 運用することにより、 利便性が向上する	庁舎、支所・出張所は、設置の 意義が見出せ ないものもある	図書館は、学校や 公共の蔵書をネット ワークで検索活用す る仕組みとしては
--	-------------------------------------	--

4位 施設運営の充実化 **11票**

図書館は、統合し専 門書等を充実させる カフェやCD・DVDレンタル との複合化を行う	体育施設は、ダ ンス教室やヨガ・ フィットネスなどの 複合化を行う	博物館等の施設 は展示内容の更 新(他市との入 れ替え)を行う
--	--	--

5位 重複施設を減らす **10票**

ホールは多い。集約 しコストダウンし、上質 なゾク(催し)を呼び 子ども達に見せる	図書館はエリア内の小 中学校と複合化する 学校には図書館が あり複合化可能	記念館・博物館 は類似している ものを統合する	合併前の全市的 に利用している 施設を地域利用 施設に組み込む
--	--	-------------------------------	--

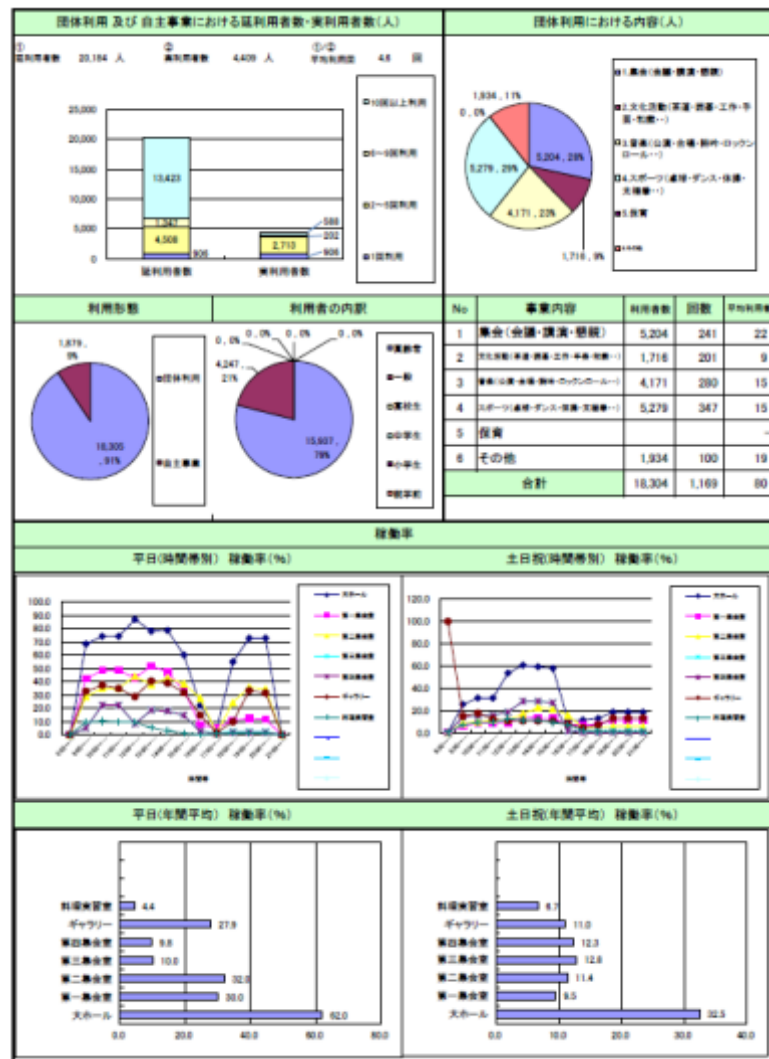
6位 支所・出張所の統廃合 **9票**
6位 施設目的・必要性の再検討（県・近隣地域との共同利用、
市民意見を募る） **9票**
6位 少子高齢化に対応し民間アイデアを取り込む **9票**
9位 利用者が増えるように宣伝する（観光PR, IT, ゆるキャラ） **8票**
10位 民営化・委託（行政サービスを民間委託・証明書発行は
ATMでIT化） **7票**

（以下省略）

H25 公共施設利用運営状況(施設カルテ)の公表

362施設の建物情報・コスト情報・利用情報を公表

施設番号	89	利用用途別分類	公民館・集会所等						
施設名称	青山地区活動センター	利用種別分類	コミュニティ地区圏域						
住所	青山三丁目37番7号	 	 						
所管課	市民協働推進課								
開設年月日	昭和54年4月1日	外観							
運営形態(指定管理者)	指定管理者	 	内部						
指定管理等契約期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日								
指定管理者等名称	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団	設置根拠法令	盛岡市地区活動センター条例						
設置根拠法令	盛岡市地区活動センター条例	設置条件	盛岡市地区活動センター条例						
開館時間	9時～21時	開館日							
休館日		設置目的	盛岡市地区活動センター条例第2条住民の集會、レクリエーションその他コミュニティ活動のための施設						
設置目的		サークル、市民活動団体、PTA							
(区分・単位)	平成23年度	前年比%	平成22年度	平成21年度	土地面積	2,222.98㎡	現況地目	宅地	
延利用者数(人)	37,556	78.2	48,014	56,877	土地所有形態	市有、民間	借受面積		
開館日数(日)	361	100.3	360	360	複合施設の有無	有	青山老人福祉センター、青山支所		
1日当たり利用者数(人)	104.0	78.0	133.4	158.0	用途地域	第一種住居地域			
稼働率(%) (面積加重平均)	39.7	-	-	-	総延床面積	1,574.02㎡	築年数(主たる建物)	33年	
面積当たり利用量 (人・時/㎡)	23.9	-	-	-	建物所有状況	市有	未利用スペース	-	
延床面積当たりの利用員数 (人・時/㎡)	780	-	-	-	耐震診断(主たる建物)	充実	耐震補強(主たる建物)	未対応	
園児・児童・生徒数(人)	-	-	-	-	階数・構造(主たる建物)	地上3階・鉄筋コンクリート造			
入居戸数(戸)・貸出戸数(戸)	-	-	-	-	運営費用(千円)	545,606			
事務取扱件数(件)	-	-	-	-	事務取扱件数(件)	12,559			
(区分・単位)	平成23年度	平成22年度	平成21年度	(区分・単位)	平成23年度	平成22年度	平成21年度		
市の収入計① (②+③)	134	0.8	152	178	千円	構成比%	千円	千円	
使用料(減免後)②	128	0.8	146	172	市の支出計⑤ (指定管理料除く)	977	5.8	878	730
その他③	6	0.0	6	6	施設のコスト	977	5.8	878	730
＜参考＞ 使用料減免額④	0	0.0	0	0	事業のコスト	0	0.0	0	0
指定管理者の収入計⑤	16,013	99.2	16,013	16,087	人に係るコスト	0	0.0	0	0
指定管理料⑥	15,882	98.4	15,877	15,986	指定管理者の支出計⑥	15,949	94.2	15,896	16,267
利用料金収入⑦	0	0.0	0	0	施設のコスト	6,908	40.8	7,129	7,324
自主事業収入	0	0.0	0	0	自主事業以外のコスト	0	0.0	0	0
その他収入	131	0.8	136	101	自主事業のコスト	0	0.0	0	0
収入合計⑧	16,147	100.0	16,165	16,265	人に係るコスト	9,041	53.4	8,767	8,943
指定管理者の収支差引 (⑤-⑥)	64	-	117	△180	支出合計⑦	16,926	100.0	16,774	16,997
使用料等の収入が支出合計に おのれ超過(⑧-⑥-⑦)/⑧	1.6	-	1.7	1.6	市負担	16,725	-	16,603	16,538
使用料減免割合(%) (④÷(②+③+④))	0.0	-	0.0	0.0	市負担	29,284	-	29,162	29,097



H26 公共施設等マネジメント推進会議設置

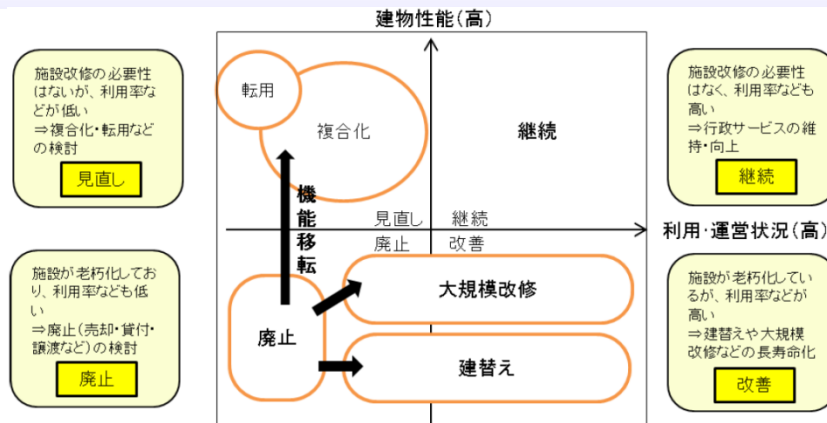
公共施設等の効率的かつ効果的な管理及び活用の推進について、意見等を求める有識者等7人(①学識経験者②税理士③町内会・自治会代表④女性団体代表)

H26 第1回 6月30日	公共施設等マネジメントの取り組みについて 正副委員長の選出、市の取組状況を説明
H26 第2回 7月31日	公共施設の現地視察、施設評価について 市内の公共施設の現地視察を行った後、施設評価二次評価の観点を協議
H26 第3回 8月21日	公共施設保有の最適化と長寿命化の計画(長期計画)の策定について 計画の骨子及びその内容について協議
H26 第4回 10月24日	公共施設保有最適化・長寿命化長期計画(案)の策定について 計画案について協議
H26 第5回 2月13日	公共施設等総合管理計画(案)について 向こう10年間の基本的な方向性と取り組みを定める計画案を協議
H27 第1回 5月22日	市民フォーラムに参加 公共施設等在り方や更新問題について理解を深める
H27 第2回 10月2日	盛岡市公共施設保有最適化・長寿命中期計画(案)について 計画案について協議
H27 第3回 1月26日	盛岡市公共施設保有最適化・長寿命中期計画(案)の変更について 市民説明会・パブリックコメント等の結果に伴う計画案の変更について協議

H26 施設評価(1次評価)

○定量評価(358施設)

建物性能(ハード面)と利用
運営状況(ソフト面)の2軸で類型化
(継続101, 改善72, 見直し118, 廃止67)



○ヒアリング

1次評価結果の通知と併せ、
2次評価用の施設評価調査
を実施
(量, サービス, コストの最適
化案を各課に提案してもらう)



ヒアリングで内容を掘り下げる



2次評価 や 用途別方針(長期計画)の作成に活用

施設評価調査票

3 施設の評価 (See)

(1) 1次評価結果

<input type="checkbox"/> 継続 (建物性能: 高い, 利用状況: 高い)
<input type="checkbox"/> 改善 (建物性能: 低い, 利用状況: 高い)
<input type="checkbox"/> 見直し (建物性能: 高い, 利用状況: 低い)
<input type="checkbox"/> 廃止 (建物性能: 低い, 利用状況: 低い)

(2) 2次評価のための調査項目

A 量の最適化

(7) サービスの重要性

① 施設で行われている事務事業

事務事業名	
事務事業名	
事務事業名	
事務事業名	

② 市の関与の妥当性

<input type="checkbox"/> 法律で設置が義務付けられている施設 【例】義務教育施設, 庁舎, 保健所
<input type="checkbox"/> 市民生活に必要な施設 【例】夜間急患診療所, 消費生活センター, ひまわり学園など
市民が社会生活を営むうえで、必須の施設
市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために、必要な規制、監視指導、情報提供、相談などを目的とした施設
個人の方だけでは対処し得ない社会的弱者を対象に、生活を支援する施設で、民間により同種のサービスの提供がなされていない施設
<input type="checkbox"/> 多くの市民に受益が及ぶ施設(Aを除く) 【例】図書館, 記念館, 地区活動センターなど
市民福祉の増進を目的とし、全ての市民が利用することのできる施設
市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは市外へ情報発信することを目的とした施設
<input type="checkbox"/> 限られた市民に受益が及ぶ施設(Bを除く) 【例】老人福祉センター, コミュニティセンターなど
限られた市民や団体を対象としたサービスであって、サービスの提供を通じて、利用者やその家族などに受益が及ぶ施設
<input type="checkbox"/> 多くの市民に受益が及ぶ施設のうち民間を補充する施設(A) 【例】アム, 宿泊施設など
市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれずこれを補充する施設
<input type="checkbox"/> 限られた市民に受益が及ぶ施設のうち民間を補充する施設(B) 【例】市営住宅, けやき荘など
民間のサービスだけでは市域全体にとって望ましい質、量のサービスの確保ができないため、これを補充・先導する施設
<input type="checkbox"/> それ以外の施設 (公的関与が認められない施設)

(4) 代替手法の有無

① 役割分担

国・県等において、サービスが類似する施設がある	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
(有の場合、類似施設名称)	
民間事業者において、サービスが類似する施設がある	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
(有の場合、類似施設の名称)	
地域団体などの活動団体が主体となった運営が望ましい。	<input type="checkbox"/> 該当 ・ <input type="checkbox"/> 非該当
(望ましい管理運営主体)	

② 機能の重複

市の施設において、サービスが類似する施設がある	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
(有の場合、類似施設名称等)	

③ 施設の有効性

施設に対する需要の推移	<input type="checkbox"/> 高まっている ・ <input type="checkbox"/> 変わっていない ・ <input type="checkbox"/> 低下している
(需要の変化の要因)	
当該施設を使わないサービス提供が考えられるか	<input type="checkbox"/> 考えられる ・ <input type="checkbox"/> 考えられない
(考えられる内容)	

イ サービスの最適化

多目的利用 (設置目的以外の利用) の可能性がある	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
(有の場合、その内容)	
利用対象者の拡大 (利用者数の増加) の可能性がある	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
(有の場合、その内容)	
施設余剰の活用 の可能性がある	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
(有の場合、その内容)	
公民連携など民間ノウハウを活用する可能性がある	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
(有の場合、その内容)	

ウ コストの最適化

管理運営における経費削減のための見直しの可能性がある	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
(有の場合、その内容)	
市民から見て、適切な受益者負担が行われていると感じる (所管課の考え)	<input type="checkbox"/> 行われている ・ <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある ・ <input type="checkbox"/> 行われていない (見直しが必要)
(そう感じる理由)	
貸付・売却の可能性	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
(有の場合、その内容)	

建築物系施設について、向こう20年間の具体的な取組の方向性を定める基本計画

施設別の方向性

■庁舎

大規模改修などで大きな経費が必要になる前に、庁舎を段階的に集約します。



■公民館・集会施設など

「市民協働」の方針を基本として、協働の拠点づくりを推進します。現在各コミュニティ地区に分散している集会機能や健康増進機能などを、拠点となる施設に集約します。

■高齢者・障がい者などの福祉施設

老人福祉センターは、各コミュニティ地区内の類似施設との集約化を図ります。また、民営化など運営主体の見直しを進めます。

■体育施設

県や民間の保有施設の設置状況を考慮しながら配置のバランスを検討し、民営化や統合を進めます。特定の団体が使用する施設は、その団体への譲渡や廃止などを検討します。



■記念館・博物館

保有数が多く、機能が重複している施設もあるため集約を進めます。収蔵庫の確保や収蔵物の整理などを行いながら、展示物を集約し集客を図ります。

■図書館

民間活力の導入により、費用負担を軽減しながら、さらなる効率化に努めます。県内の図書館と積極的に広域連携するなど、便利



性を考慮しながら適正配置を検討します。

■児童福祉施設

留守家庭児童の増加などにより、放課後児童の安全な居場所の整備が求められています。小学校を活用するなど、児童の活動の場を充実させ児童福祉の増進に努めます。



■学校

余裕教室や敷地の有効活用を推進します。小学校は、学童クラブの活動や児童の遊び場としての利用を進め、児童センター機能との複合化を図ります。中学校は、地域のコミュニティ施設や小学校との複合化・多目的化を検討。複式学級や適正学級規模未満の学校については適正配置を検討します。



H26 施設評価(2次評価)

○定性評価

一次評価で見直し・廃止に分類された施設を中心に、地理的特性、利用実態、サービスの重要性や代替手法など、詳細情報を確認し今後の方向性を定める

- 観点1 役割分担が可能であるか。 観点2 民間活力の導入が可能であるか。
 観点3 機能の重複があるか。 観点4 施設の有効性が低下していないか。
 観点5 代替手法で対応できないか。 観点6 機能移転が可能であるか。
 観点7 将来的に施策の成果向上に資することが期待できるか。

○ヒアリング

長期計画で定めた用途別の方針と、上記7つの観点に照らし、各施設が今後どのようなになれば良いかを、各部等が提案。同時に事務局案も提示しヒアリングへ。各部次長の全体説明後、担当係長が説明。

【ヒアリング資料イメージ】

施設名称	用途分類	用途別の方針	1次評価結果	資産管理活用事務局案			各部等提案			調整案		
				建物	機能	内容	建物機能	内容	建物	機能	内容	
市庁舎	庁舎	長寿命化を図る大規模改修など大きな経費を要する前に、庁舎を段階的に集約します。	II	建替	継続	・庁舎機能は、本庁舎、都南総合支所、玉山総合事務所に段階的に集約する。 ・毎年2億円を市庁舎整備基金に積み立てていることから、基金造成を開始した平成23年からおよそ20年を経過する平成43年に建替えを行う。	建替 え 新設	およそ20年後、内丸周辺の分庁舎をも集約した新庁舎を建設する。 (建設地未定)	建替	継続	庁舎機能は、本庁舎、都南総合支所、玉山総合事務所に段階的に集約する。 毎年2億円を市庁舎整備基金に積み立てていることから、基金造成を開始した平成23年からおよそ20年を経過する平成43年を目指して、建替えを行う。	
肴町分庁舎	庁舎		II	譲渡	移転	・中心市街地に位置し資産価値が高いことから、他の庁舎に機能移転し、譲渡する。 ・国体終了後に他の庁舎に機能移転し、譲渡とする。	その他	組織機構の改編等に併せ、庁舎の集約化を図っていくこととする。 手狭な本庁舎を補完する分庁舎として、市民及び職員の利便性が高いことから、集約化されるまでの間、施設設備機能を維持させていく。	譲渡	移転	国体終了後に、組織機構の見直しに合わせて内丸分庁舎に機能移転し、譲渡する。	

H27 市民フォーラムの開催

老朽化問題に関する全国の実例や盛岡市のこれまでの取組を振り返りながら、市民の皆さんと共に、盛岡市の今後の公共施設の在り方を考えるためフォーラムを開催



当日の様子(延210人が参加)



パネルディスカッションの様子(延210人が参加)

これからの公共施設の在り方を考える市民フォーラム

考えよう！未来の盛岡

子ども達に
明るい未来を

次世代に継承できる公共施設
持続可能な市民サービスの提供を目指して

入場無料
定員 350人
申込不要

日時 平成27年 **5/22 (金)**
13:30～16:00 (開場 13:00)

会場 盛岡市民文化ホール 小ホール
(盛岡市盛岡駅西通二丁目9-1 マリオス1階)
乗車の際は公共交通機関をご利用ください。

総合司会
フリーランスアナウンサー
坂口 奈央 さん

第1部 公共施設の現状と課題
①公共施設の老朽化問題とは？
首都大学東京都市環境学部客員教授 山本康友 氏
②先進的の取り組み事例
豊野市公共施設再配置推進課長 志村高史 氏
③盛岡市のこれまでの取り組み
盛岡市資産管理活用事務局

第2部 パネルディスカッション
①これからの公共施設の在り方とは？
首都大学東京都市環境学部客員教授 山本康友 氏
豊手県立大学総合政策学部准教授 桑田但馬 氏
盛岡市公共施設等マネジメント推進会議委員
八木橋典紀 氏
盛岡市まちづくり市民討論会参加者
豊野市公共施設再配置推進課長 志村高史 氏

主催 盛岡市 お問い合わせ 盛岡市資産管理活用事務局 電話 019-603-8007

H27 市民意見交換会の開催

市内30地区で、長期計画の説明と中期計画などを策定するための意見交換会を実施(延385人が参加)

対象地区	開催日	会場
仙北, 本宮, 太田, つなぎ	5月26日(火)	アイスアリーナ
見前, 飯岡, 乙部	5月29日(金)	都南公民館
巻堀・姫神, 好摩, 渋民, 玉山・薮川	6月 2日(火)	渋民公民館
加賀野, 山岸	6月 5日(金)	中央公民館
上田, 緑が丘, 松園, 米内	6月26日(金)	上田公民館
杜陵, 大慈寺, 中野, 築川	6月30日(火)	中央公民館
仁王, 桜城, 城南	7月14日(火)	中央公民館
青山, みたけ, 土淵	7月23日(木)	西部公民館
北厨川, 西厨川, 東厨川	7月28日(火)	西部公民館
全域	7月30日(木)	中央公民館



○当日の流れ

- 18:30 開会(18:00開場)
- 18:30~19:00 公共施設保有最適化・長寿命化長期計画の説明
- 19:00~20:00 対象地区ごとに分かれての意見交換

H27 市民意見交換会の開催

地区ごとに分かれての意見交換

※施設配置図や施設カルテデータを資料配布

これからの公共施設の在り方を考える市民意見交換会 意見交換用紙

お住まいの地区	地区	性別	男・女	年代	歳代
---------	----	----	-----	----	----

意見交換内容

問1 あなたがお住まいの地区の公共施設の良いところや不便なところをご記入ください。

良いところ	不便なところ

問2 施設の老朽化問題や将来的な人口減少・少子高齢社会の到来を考えた際に、市の公共施設の配置や在り方が将来どうあれば良いか、あなたのお考えをご記入ください。

問3 その他、公共施設について意見・感想等がありましたらご記入ください。

参加者アンケート (該当するものへのチェック等をお願いします。)

- 問1 長期計画の主旨はご理解いただけましたでしょうか。
理解できた だいたい理解できた どちらかと言うと理解できなかった 理解できなかった
- 問2 長期計画の取組は、必要だと思いますか。
必要 どちらかと言うと必要 どちらかと言うと必要ない 必要ない
- 問3 意見交換会や長期計画についての感想等をお聞かせください (自由記載)

○松園地区施設一覧

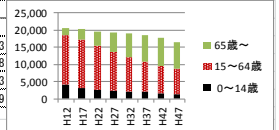
施設名称	築年数(年) H26.3.31時点	床面積(m ²)	利用者数(人) ◎	稼働率(%)	維持管理費(人件費含) (千円/年) ①	修繕・改修・建替費用 (千円/年) ②	①・②の合計費用 (千円/年) ③	利用者1人当たりの総費用 (円) ③/利用者数◎	利用者数の推移				
									昭和55年度	平成2年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度
松園小学校	40	7,039.00	288	—	41,955	41,656	83,611	290,316	1,242	762	393	372	305
東松園小学校	34	6,466.80	322	—	48,678	44,653	93,331	289,848	580	1,183	377	342	322
松園老人福祉センター	33	206.84	9,606	33	4,986	1,648	6,634	691	—	—	—	—	9,952
松園児童センター	33	334.76	12,826	—	8,847	2,091	10,938	853	—	—	12,431	14,625	13,196
松園中学校	33	8,946.72	325	—	32,467	52,507	84,974	261,458	—	990	494	363	319
松園地区活動センター	32	1,374.00	54,828	53	10,589	11,073	21,662	395	—	—	16,879	61,634	53,257
北松園小学校	20	7,597.99	330	—	48,757	45,261	94,018	284,903	—	—	933	599	356
北松園児童センター	18	395.45	18,267	—	16,315	2,473	18,788	1,029	—	—	16,853	19,010	17,938
北松園老人福祉センター	18	204.55	9,992	26	5,007	1,632	6,639	664	—	—	—	—	10,215
北松園中学校	18	7,095.68	244	—	24,498	42,246	66,744	273,541	—	—	547	441	263
松園地区公民館	5	1,766.67	21,639	44	16,657	6,036	22,693	1,049	—	—	—	—	18,861

注1 ◎利用者数は、年間の延利用者数を記載していますが、庁舎は職員数を、保育園・学校は園児・児童・生徒数を、市営住宅は入居戸数を記載しています。
 注2 ①維持管理費(人件費含)は、管理運営に要した1年当たりの市の負担額(ランニングコスト)です。市が当該施設に支出した費用から使用料やその他の収入を差し引いた額です。
 注3 ②修繕・改修・建替費用は、維持管理費(人件費含)がマックスになるのは、使用者から徴収した使用料等が維持管理費を上回っているからです。
 注4 ③修繕・改修・建替費用は、建設費用を60年としその間に修繕、交換、建設を行うとの仮定とし、60年間に修繕・改修・建替に要する費用を60年で割り返した額です。

○松園地区人口推計

年次	人口(人)								平成17年を100とした増減		
	H12	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47	H27	H37	H47
0~14歳	4,090	3,210	2,691	2,454	2,245	1,989	1,622	1,422	76.4	62.3	44.3
15~64歳	14,485	14,064	12,719	11,161	9,866	8,865	7,961	7,287	79.4	63.0	51.8
65歳~	2,117	2,997	4,265	5,762	6,911	7,645	8,024	7,890	192.3	255.1	263.3
合計	20,692	20,271	19,675	19,377	19,022	18,509	17,600	16,599	95.6	91.3	81.9

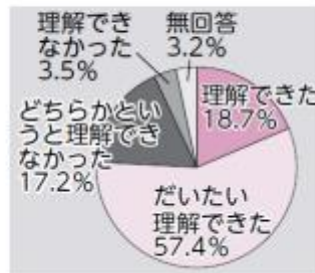
※注1 国勢調査人口(平成12年~17年) 国勢推計人口(平成22年~47年)
 出典 盛岡市立大学盛岡市まちづくり研究所「平成20年度研究報告書(平成21年)」



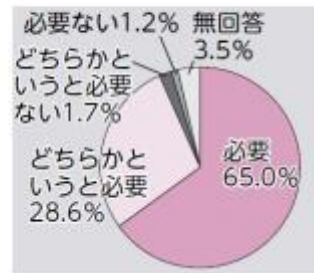
※市民意見交換会について

参加者アンケートの結果、76.1%が「長期計画の主旨について理解できた」「だいたい理解できた」と回答。また、93.6%が「長期計画の取り組みは必要」「どちらかという必要」と回答しました

問1 「長期計画の主旨は理解できましたか」



問2 「長期計画の取り組みは必要だと思いますか」



市民意見交換会報告書はこちら↓

<http://www.city.morioka.iwate.jp/machizukuri/28638/index.html>

H27 公共施設保有最適化・長寿命化中期計画策定

中期計画とは？

中期計画とは、昨年度策定した長期計画を円滑に進めるため、施設ごとに具体的な見直しの方向性や長寿命化に向けた工事の実施時期などを定めた計画です。期間は28年度からの10年間。庁舎や学校、市営住宅など367施設が対象です。



中期計画の主な取り組み

長寿命化に向けた取り組み

耐用年数80年を目指し、築後おおむね20年で修繕、40年で大規模改修、60年で修繕を行うという長寿命化工事を表3のとおり実施。今後20年間に全施設で修繕または大規模改修を実施します。なお、大規模改修の際は、安全・安心、バリアフリー、利便性・快適性、省エネなどに配慮します。

重点的に取り組むこと

- ①市内に32ある福祉推進会の区域ごとに、今ある施設を活用した地域拠点施設*を確保
- ②老人福祉センターを設置していない地区に、介護予防などを行う場所を確保
- ③学校などを活用した児童センターの設置
- ④劣化が進む前に計画的に「予防保全」を行い、施設を長寿命化

*現在、地域コミュニティの中核となっている施設または将来そうなる予定の施設のこと。交流や健康増進など、幅広い世代がさまざまな活動に利用できる

必要な維持更新費用

中期計画期間の10年間に必要な維持更新費用は541億7700万円。長期計画策定前の推計よりも93億7300万円の縮減を見込んでいます。

表2 中期計画に必要な維持更新費用

用途区分	維持更新費用	構成比
学校	304億5000万円	56.2%
公民館・集会施設	70億1400万円	13.0%
市営住宅	65億8400万円	12.1%
高齢者・障がい者などの福祉施設	21億2400万円	3.9%
その他	80億 500万円	14.8%
合計	541億7700万円	100%

表3 中期計画期間に長寿命化工事を行う施設数

工事の種類	施設数
修繕	59
大規模改修	137
建て替え	11
解体・減築	62
合計	269

*学校については、校舎と体育館、プールに分けて数えています

施設保有の最適化に向けた取り組み

表4のとおり個別施設の方向性を定め、複合化などにより施設保有の最適化を進めます。

<複合化のイメージ>

例) 学校の余裕教室などに児童センター機能を移転

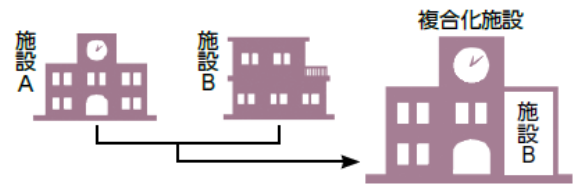
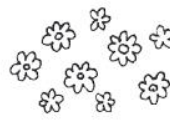


表4 個別施設の方向性

区分	施設数
維持(継続)	254
維持(複合化)	19
譲渡	27
解体	26
転用	7
建て替え	4
減築	6
保留	24

*今後の検討により方向性が定まるものは保留にしています

中期計画の具体的な取り組み



保育園

18年度に策定した市保育所民営化計画に基づき、民営化を進める。28～32年度に、みたけ、うえだ、永井保育園を民営化



市庁舎

本庁舎と都南総合支所、玉山総合事務所、保健所へ段階的に機能集約
●肴町分庁舎…国体終了後、内丸分庁舎へ統合し売却

市営住宅

市営住宅の保有量の最適化
●盛岡駅前アパート…他の団地への機能移転、建物の解体



野外施設

- ①適正配置を検討
 - 市営野球場…規模や整備手法、処分などについて検討し建て替え
 - 綱取スポーツセンター…譲渡または廃止
- ②安全性を考慮し解体
 - 旧乙部小学校の建物（運動広場の機能は継続）

体育施設

- ①利用者が限られる弓道場は、管理体制の見直しや施設の譲渡・廃止など、方向性を定める
- ②アイスアリーナのスケートリンク機能の廃止に伴い、さまざまなイベントへ利用拡大
- ③体育館の設置状況を考慮し、他の施設と統合・複合化
 - 都南体育館 → 複合化による建て替えの検討。飯岡体育館は、市場多目的ホールなどへの機能移転を検討し、建物を解体
 - 飯岡体育館
 - 乙部体育館 → 都南東部地区スポーツ施設への機能移転を検討し、建物を解体

記念館・資料館

- 重複した機能を持つ施設を集約化
- 盛岡てがみ館…展示資料を先人記念館へ移転
 - 石川啄木記念館 → 複合化
 - 玉山歴史民俗資料館
 - 原敬記念館 → 施設の連携を検討
 - 先人記念館

小・中学校

- ①複式学級の学校（なる見込みの学校も含む）は、複式学級の解消を検討
- ②全年1学級の学校（なる見込みの学校も含む）は、適正規模の配置を検討
- ③小学校の大規模改修などに合わせ、児童館・児童センター機能の受け入れを検討
- ④見前小は、児童センターとの複合化の可能性を検討。可能な場合は見前小に児童センターを設置
- ⑤棟単位で減築が可能な学校について、減築を検討

宿泊施設

- ①民間事業者によるサービス提供が可能な分野であるため、民間譲渡などを検討
 - 都南サイクリングターミナル…隣接するつどいの森のレストハウスと一体での民間譲渡または廃止
 - 総合交流ターミナル施設（ユートランド姫神）…民間譲渡の検討
- ②適正規模を考慮し、区界高原少年自然の家の規模を縮小

高齢者・障がい者などの福祉施設

- ①下記の老人福祉センターをA型からB型へ転換*し、地域拠点施設などへ複合化
 - 愛宕山 ●太田 ●青山 ●都南

* A型は495.5平方メートル以上（風呂あり）、B型は165～495.4平方メートル（風呂なし）の施設
- ②老人福祉センターB型は、一般や子どもの利用促進を図る。近隣に地区活動センターなどがある場合は、それらの施設に機能を移転
- ③老人福祉センターと民間保育所との合築施設について、今後の在り方を検討
- ④みたけ老人福祉センターを新設
- ⑤老人憩いの家は、市民協働による維持管理を推進
- ⑥民間事業者によるサービス提供が進められている分野はその活用を検討

公民館・集会施設など

- ①32福祉推進会の区域ごとに、既存の施設を活用した地域拠点施設を確保し、機能を集約化
 - 都南勤労福祉会館 → 地域拠点施設へ転用
 - 好摩地区公民館 → 好摩児童館へ機能移転、建物の解体
 - 就業改善センターなど
 - 松園地区活動センター → 松園老人福祉センターの機能受け入れ
 - 太田地区活動センター → 太田老人福祉センターの機能受け入れ
 - 土淵地区活動センター → 老人福祉センター的機能を付加
 - つなぎ地区活動センター → 老人福祉センター的機能を付加
- 飯岡地区公民館 → 上飯岡児童センターと都南老人福祉センターの機能受け入れ
- 飯岡農業構造改善センターなど
- 仙北地区活動センター → サンライフ盛岡を減築し両施設を複合化。中央通勤労青少年ホームの機能受け入れ
- サンライフ盛岡
- 中央公民館 → 愛宕山老人福祉センターの機能受け入れ
- ②加賀野地区活動センターは規模を縮小し、建て替え
- ③安全性を考慮し、次の施設を解体
 - 川目生活改善センター ●姫神ふるさと学習センター
 - 玉山生活改善センター ●藪川生活改善センター

H27 公共施設保有最適化・長寿命化中期計画策定

1 施設用途ごとの取組

(1) 庁舎

長期計画の方向性

長寿命化を図る大規模改修など大きな経費を要する前に、庁舎を段階的に集約します。

中期計画における具体の方向性

庁舎は、市庁舎、都南総合支所、玉山総合事務所の3施設及び保健所への機能集約に取り組みます。

- ア 国体終了後の着町分庁舎の内丸分庁舎への統合、売却
- イ 大規模改修する都南総合支所の都南歴史民俗資料館の一部及び都南地区保健センターの機能の受入れ
- ウ 若園町分庁舎にある身体障害者福祉センターの機能の地域福祉センターへの移転

対象施設	中期計画			参考
	平成28年度～30年度	平成31年度～33年度	平成34年度～37年度	平成38年度以降
市庁舎				建替え
内丸分庁舎	着町分庁舎機能の受入れ			譲渡等 機能を市庁舎に集約
若園町分庁舎		身体障害者福祉センターの地域福祉センターへの移転		譲渡等
保健所			修繕	
愛宕町分庁舎				譲渡等 機能を市庁舎に集約
着町分庁舎	譲渡等 内丸分庁舎に統合			
都南総合支所			大規模改修	
玉山総合事務所				大規模改修

2 地区ごとの取組

(5) 松園地区

中期計画における具体の方向性

- ① 地域拠点施設は、松園地区活動センターとします。
- ② 地域拠点施設への機能の集約化を図るため、大規模改修する松園地区活動センターの松園老人福祉センターの機能の受入れ、解体する松園老人福祉センターの敷地の駐車場への転用に取り組みます。
- ③ 老人福祉センターと合築となっている松園児童センターは、松園小学校スペースの活用があるときは、松園小学校等の大規模改修に合わせて、松園小学校への機能移転を進め、現施設は転用又は解体をします。
- ④ 松園小学校の大規模改修に合わせて、児童館・児童センターの機能の受入れを検討します。
- ⑤ 全学年が単学級となる見込みである東松園小学校は、適正規模の配置を検討します。

対象施設	中期計画			参考
	平成28年度～30年度	平成31年度～33年度	平成34年度～37年度	平成38年度以降
松園地区活動センター			松園地区活動センター・大規模改修	
松園老人福祉センター			松園老人福祉センター機能の受入れ	
松園児童センター			松園児童センター機能の受入れ	
松園小学校(教会)			大規模改修	
松園小学校(屋内運動場)			大規模改修	
松園小学校(プール)		大規模改修		
北松園老人福祉センター			修繕	
北松園児童センター				
松園地区公民館				修繕
東松園小学校	適正規模の配置の検討			検討結果による対応

H27 市民説明会(地区説明会)

具体的な個別施設計画の策定に当たり、これまでの市の取組を説明するとともに、公共施設保有最適化・長寿命化中期計画(案)の政策形成過程を市民等と共有しながら意思決定を行うことを目的として、市民説明会を開催

○平成27年11月4～28日に全10回開催

中期計画(案)の「地区ごとの取組」の当該地区部分を説明

○当日の流れ

午後6時30分～午後7時10分 公共施設保有最適化・長寿命化中期計画の説明

午後7時10分～午後8時頃 質疑

○開催結果

全10回で延365人が参加

94の質疑意見及び回答が行われた。

期日	場所	対象地区
11/ 4(水)	西部公民館(南青山町)	北・西・東厨川
11/ 5(木)	青山地区活動センター(青山三)	青山、みたけ、土淵
11/10(火)	上田公民館(上田四)	仁王、桜城、上田
11/11(水)	河南公民館(松尾町)	杜陵、大慈寺、中野、築川
11/12(木)	松園地区活動センター(西松園二)	緑が丘、松園、米内
11/18(水)	アイスアリーナ(本宮五)	仙北、本宮、太田、繫
11/19(木)	中央公民館(愛宕町)	加賀野、山岸、城南
11/25(水)	都南公民館(永井24)	見前、飯岡、乙部
11/26(木)	渋民公民館(玉山区渋民)	巻堀・姫神、好摩、渋民、玉山・藪川
11/28(土)	上田公民館(上田四)	全域



H27 市民説明会(個別説明会)

○ 個別説明会

市民と情報を共有しながら中期計画を策定するため、地域や団体の要望に応じ個別に説明会を実施

- ・平成27年12月21日(月)
午後7時から午後8時15分まで
対象者:好摩地区福祉推進会(60人)
主催者:事務局・関係各課(12人)

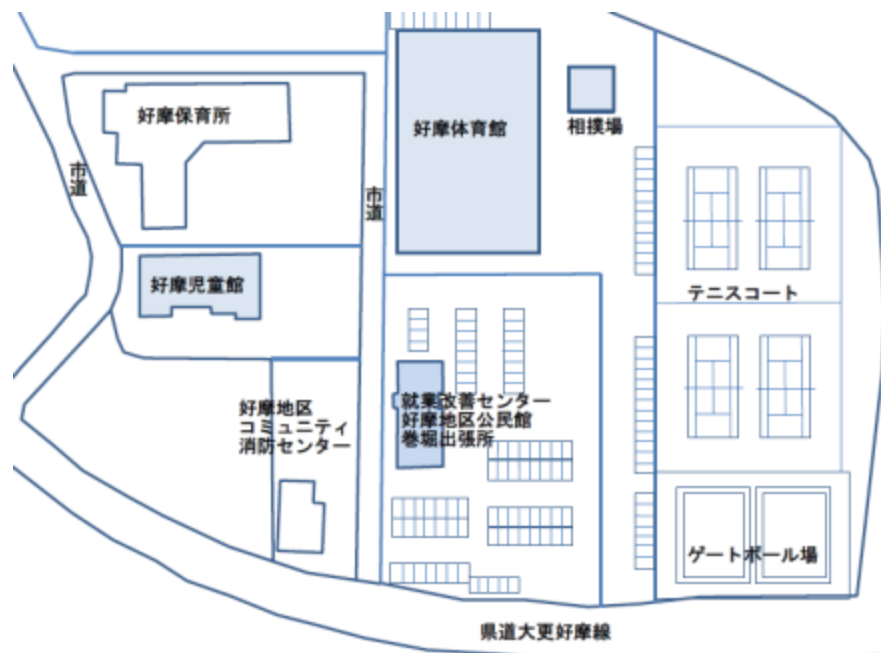


- ・平成27年12月15日(火)午後6時から
仙北地区社会教育福祉推進会(27人)
- ・平成27年12月2日(木)午後7時から
成人のつどい実行委員会(6人)
- ・平成27年12月18日(金)午前10時30分から
岩手県立大学総合政策学部生(5人)

【財政制約】新築の6割程度の費用で更新する

【当初案】好摩地区公民館・就業改善センターは、大規模改修する好摩児童館へ増築のうえ機能移転し、現建物を解体

【対 案】好摩地区公民館・就業改善センターを大規模改修し、好摩児童館(築23年)を売却



好摩児童館(築23年)

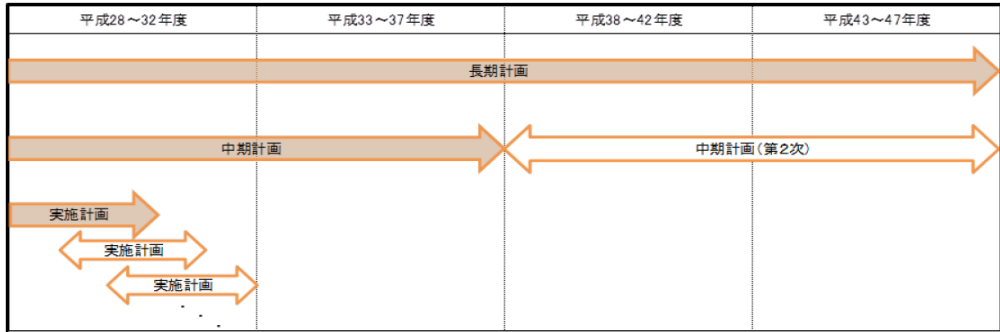


好摩地区公民館・就業改善センター(築38年)

H27 公共施設保有最適化・長寿命化実施計画

○実施計画の概要

- 1 計画の目的
中期計画を円滑に推進するため、向こう3年間に実施する事業を定める計画
- 2 計画の期間
平成28年度から平成30年度
- 3 計画の範囲
対象施設は、庁舎、学校、教育文化福祉施設、市営住宅などの建築物系施設のうちの行政財産とし、盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画において、平成28年度から30年度に取り組むこととしている施設
- 4 計画の進行管理
実施計画は、向こう3年間を計画期間とするローリング方式により毎年作成
実施計画の進行管理等は、公共施設保有等検討会議において行うとともに、定期的に取り組実績について評価を行い、その結果を公表します。



H27 公共施設保有最適化・長寿命化実施計画

○実施計画の取組

(1) 計画期間に施設保有の最適化を行う施設

(単位:件)

最適化の種類	複合化	譲渡・解体	転用	建替え	減築	合計
実施計画	7	7	1	6	3	24

○計画期間に施設保有の最適化を行う施設一覧

複合化	譲渡・解体	転用	建替え	減築
<ul style="list-style-type: none"> ・仙北地区活動センター ・青山地区活動センター ・中央公民館 ・大新小学校(校舎) ・内丸分庁舎 ・見前小学校(校舎) ・飯岡地区公民館 	<ul style="list-style-type: none"> ・肴町分庁舎 ・女性センター別館 ・薮川生活改善センター ・みたけ保育園 ・旧とりよう保育園 ・中央通勤労青少年ホーム ・永井保育園 	<ul style="list-style-type: none"> ・都南勤労福祉会館 	<ul style="list-style-type: none"> ・薮川出張所 ・薮川地区公民館 ・青山二丁目アパート ・青山三丁目アパート ・巻堀中学校(屋内運動場) ・城西中学校(屋内運動場) 	<ul style="list-style-type: none"> ・区界高原少年自然の家(作業棟) ・旧青山二丁目アパート ・旧青山三丁目アパート

H27 公共施設保有最適化・長寿命化実施計画

(2) 計画期間に長寿命化工事等を行う施設

(単位:件)

工事の種類	修繕	大規模改修	建替え	解体・減築	合計
実施計画	5	44	6	10	65

○計画期間に長寿命化工事等を行う施設一覧

修繕	大規模改修		建替え	解体・減築			
<ul style="list-style-type: none"> ・飯岡出張所 ・飯岡農業構造改善センター ・飯岡地区公民館 ・飯岡地区保健センター ・盛岡市立総合プール 	<ul style="list-style-type: none"> ・浜民運動公園総合体育館 ・区界高原少年自然の家 ・柿の木アパート ・前九年アパート ・仙北西アパート ・北厨川アパート ・黒石野中学校(プール) ・大宮中学校(プール) ・青山支所 	<ul style="list-style-type: none"> ・仙北地区活動センター ・岩洞生活改善センター ・砂子沢生活改善センター ・姫神地区振興センター ・芋田地区コミュニティセンター ・農民研修センター ・青山地区活動センター ・中央公民館 	<ul style="list-style-type: none"> ・玉山就業改善センター ・好摩地区公民館 ・山岸老人福祉センター ・青山老人福祉センター ・武道館 ・山岸児童センター ・川目アパート ・緑が丘小学校(プール) ・緑が丘小学校(屋内運動場) ・青山小学校(屋内運動場) 	<ul style="list-style-type: none"> ・厨川中学校(屋内運動場) ・城西中学校(校舎) ・大新小学校(校舎) ・仁王小学校(校舎) ・見前小学校(プール) ・巻堀出張所 ・サンライフ盛岡 ・都南勤労福祉会館 ・子ども科学館 ・法領田アパート 	<ul style="list-style-type: none"> ・見前小学校(屋内運動場) ・城南小学校(屋内運動場) ・城東中学校(屋内運動場) ・大宮中学校(屋内運動場) ・見前小学校(校舎) ・北陵中学校(校舎) ・中野小学校(プール) 	<ul style="list-style-type: none"> ・薮川出張所 ・薮川地区公民館 ・青山二丁目アパート ・青山三丁目アパート ・巻堀中学校(屋内運動場) ・城西中学校(屋内運動場) 	<ul style="list-style-type: none"> ・肴町分庁舎 ・女性センター別館 ・薮川生活改善センター ・みたけ保育園 ・旧とりょう保育園 ・中央通勤労青少年ホーム ・永井保育園 ・区界高原少年自然の家(作業棟) ・旧青山二丁目アパート ・旧青山三丁目アパート

H27 公共施設保有最適化・長寿命化実施計画

(3) 計画期間の維持更新費用及び総延床面積

区分	事業費(百万円)	総延床面積増減(m ²)
実施計画	9,170	△10,592(△1.18%)

○用途別の維持更新費用の内訳

区分	事業費(百万円)	構成比
学校	2,017	22.0%
市営住宅	3,271	35.7%
公民館・ 集会施設	2,030	22.1%
高齢者・障がい者 等福祉施設	241	2.6%
その他	1,611	17.6%
計	9,170	100.0%

H27 公共施設保有最適化・長寿命化実施計画

○ 施設用途ごとの取組

施設用途	(1) 庁舎	所管課等	管財課
中期計画における具体の方向性(10年間)	庁舎は、市庁舎、都南総合支所、玉山総合事務所の3施設及び保健所への機能集約に取り組みます。 ア 国体終了後の肴町分庁舎の内丸分庁舎等への統合、売却 イ 大規模改修する都南総合支所の都南歴史民俗資料館の一部及び都南地区保健センターの機能の受入れ ウ 若園町分庁舎にある身体障害者福祉センターの機能の地域福祉センターへの移転		
実施計画期間における取組			
対象施設	平成28年度	平成29年度	平成30年度
内丸分庁舎	機能受入れの検討	受入れ	受入れ
肴町分庁舎	譲渡方法の検討	◆設計	工事
事業費(千円)	0	4,179	79,399

施設用途	(2) 支所・出張所	所管課等	市民登録課、都南総合支所 税務住民課
中期計画における具体の方向性(10年間)	合築施設の見直しに伴い、地域拠点施設への機能移転に取り組みます。 藪川出張所の、地域拠点施設として建て替える藪川出張所・藪川地区公民館の合築館への移転、現建物の地域譲渡		
実施計画期間における取組			
対象施設	平成28年度	平成29年度	平成30年度
青山支所	基本構想策定	◆実施設計	大規模改修工事
飯岡出張所	基本構想検討	基本構想策定	◆実施設計

Ⅲ 庁内の合意形成

期日	会議等	主な内容	関係者
平成25年6月28日		公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針の策定	
平成25年10月4日	平成25年度第1回公共施設保有等検討会議	公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針について 公共施設カルテの様式について等	財政次長, 17課長
平成26年2月21日	平成25年度第2回公共施設保有等検討会議	公共施設の評価指標(一次評価)及び評価方法について 用途分類及び評価分類について 公共施設の利用運営状況(施設カルテ)の公表について	財政次長, 17課長
平成26年3月25日		公共施設の利用運営状況－施設カルテの公表	
平成26年5月1日	平成26年度第1回公共施設保有等検討会議	施設評価について	財政次長, 17課長
平成26年6月5日	平成26年度第2回公共施設保有等検討会議	公共施設等総合管理計画について	財政次長, 26課長
平成26年5月28日 ～6月27日	施設評価調査に係るヒアリング	施設評価調査票(別紙1)による 一次評価結果(継続101, 改善72, 見直し118, 廃止67)	358施設, 29課
平成26年6月30日	平成26年度第1回公共施設等マネジメント推進会議	正副委員長の選出, 公共施設等マネジメントの取り組みについて	有識者等7名
平成26年7月15日	地域に密着した施設の今後のあり方に関する意見交換会	地域コミュニティの施設について	関係8課(課長出席)
平成26年7月23日	平成26年度第3回公共施設保有等検討会議	公共施設評価(二次評価手法)について	財政次長, 26課長
平成26年7月31日	平成26年度第2回公共施設等マネジメント推進会議	施設の現地視察について, 公共施設評価(二次評価手法)について	有識者等7名
平成26年8月8日	平成26年度第4回公共施設保有等検討会議	公共施設保有の最適化と長寿命化の計画(長期計画)の策定について	財政次長, 26課長
平成26年8月20日	管理者特別研修(公共施設等マネジメント)	今後の公共施設の在り方について	管理職等137名
平成26年8月20日, 21日	平成26年度第3回公共施設等マネジメント推進会議	公共施設保有の最適化と長寿命化の計画(長期計画)の策定について	有識者等7名
平成26年9月25日	平成26年度第5回公共施設保有等検討会議	公共施設保有の最適化と長寿命化の計画(長期計画)の策定について	財政次長, 26課長
平成26年10月21日	平成26年度第6回公共施設保有等検討会議	公共施設等総合管理計画(案)の策定について	財政次長, 26課長
平成26年10月24日	平成26年度第4回公共施設等マネジメント推進会議	公共施設保有最適化・長寿命化長期計画(案)の策定について	有識者等7名
平成26年12月25日		公共施設保有最適化・長寿命化長期計画の策定	
平成27年1月7日まで	個別施設の方向性に関する提案(照会)	長期計画の施設用途別の方向性, 二次評価の観点から踏まえた施設の見直しの各部提案を求める	366施設, 10部(29課)
平成27年1月13日 ～2月6日	個別施設の方向性ヒアリング	各部等の次長又は主幹課長から総括説明後 個別施設について, 施設所管課等の係長等から具体的な説明	366施設, 10部(29課)
平成27年1月27日	平成26年度第7回公共施設保有等検討会議	公共施設等総合管理計画(案)について	財政次長, 26課長
平成27年2月13日	平成26年度第5回公共施設等マネジメント推進会議	公共施設等総合管理計画(案), 平成27年度スケジュールについて	有識者等7名
平成27年2月20日 ～2月27日	個別施設の方向性に関する関係部調整会議(全6回)	庁舎, 学校と児童福祉施設, 地域拠点施設など複数課に係わる施設の複合化を検討	37施設(延22課)
平成27年2月19日		公共施設等総合管理計画の策定	
平成27年3月13日	平成26年度第8回公共施設保有等検討会議	公共施設保有最適化・長寿命化中期計画における個別施設の方向性について	財政次長, 26課長
平成27年4月21日	個別施設の方向性に関する関係部調整会議	地域コミュニティの拠点施設について	関係6課(課長出席)
平成27年5月11日	個別施設(玉山区地域コミュニティ施設)の方向性に関する関係課調整会議	玉山区の地域コミュニティ施設の方向性について	関係5課(課長出席)
平成27年5月22日	平成27年度第1回公共施設等マネジメント推進会議	市民フォーラムへの出席	有識者等7名
平成27年6月29日	個別施設の方向性に関する関係部調整会議	地域コミュニティの拠点施設について	関係6課(課長出席)
平成27年7月24日	平成27年度第1回公共施設保有等検討会議	公共施設保有最適化・長寿命化中期計画(案)について	財政次長, 26課長
平成27年8月26日	平成27年度第2回公共施設保有等検討会議	公共施設保有最適化・長寿命化中期計画(案)について	財政次長, 26課長
平成27年10月2日	平成27年度第2回公共施設等マネジメント推進会議	公共施設保有最適化・長寿命化中期計画(案)について	有識者等7名
平成28年2月(予定)		公共施設保有最適化・長寿命化中期計画の策定	

注 公共施設保有等検討会議の後には、庁議等部長級の会議を都度開催している。

Ⅲ 庁内の合意形成で留意したこと

- 施設所管課と徹底的に議論する。

管理職

検討会議(課長級)13回

担当者

情報収集・評価・ヒアリング

問題意識の共有。見直しの考え方の共有。

- 個別施設の見直し検討の前に、用途別の方針を決める。
 - ・用途別方針は一言一句のやりとり。
 - ・方針決定後に、個別施設見直しの所管課提案を受ける。
- 課を越えて議論する場を設ける(関係課調整会議)。
 - ・関係課の間を取り持つ。
 - ・各課の効率化は進んでいる。課をまたぐ所に課題が残っている。

IV 住民の合意形成

期日	住民参加手法	主な内容	関係者
平成25年4月1日	広報もりおか(平成25年4月1日号6,7P)掲載	公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針(案) (基本方針策定の背景, 目指すべき施設保有の姿などを周知)	
平成25年4月1~22日	パブリックコメント実施	公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針(案)のパブリックコメントを実施	
平成25年4月4~11日	市民説明会開催(全5回)	公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針(案)についての市民説明会	
平成25年6月28日		公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針の策定	
平成25年6月7日	市民討議会実行委員会設置	公共施設保有の最適化と長寿命化の計画策定に当たり, 市民からさまざまな意見をいただくため, 市民討議会実行委員会を設置	(一社)盛岡青年会議所9人, 市6人
平成25年10月12, 27日	市民討議会「考えよう! みんなのタテモノの未来」開催(両日とも9時30分から16時頃まで)	無作為抽出の市民により, 次のテーマについて討議 「公共施設の老朽化問題に, 今後どのように取り組んでいくべきか」 「地域で利用している施設を, どのように見直していくべきか」 「全市的に利用している施設を, どのように見直していくべきか」	無作為抽出の市民3000人に案内し応募の134人から抽選で44人を選出
平成25年12月17日	(市民討議会)市民提言書・実施報告書の提出	市民提言書・実施報告書が市長に提出される	
平成26年3月25日		公共施設の利用運営状況ー施設カルテーの公表	
平成26年11月26日~12月17日	パブリックコメント実施	公共施設保有最適化・長寿命化長期計画(案)のパブリックコメントを実施	
平成26年12月25日		公共施設保有最適化・長寿命化長期計画の策定	
平成27年2月15日	広報もりおか(平成27年2月15日号2,3P)掲載	公共施設保有最適化・長寿命化長期計画 (施設用途別の取組の方向性, 長寿命化の取組などを周知)	
平成27年2月19日		公共施設等総合管理計画の策定	
平成27年5月22日	これからの公共施設の在り方を考える市民フォーラム	基調講演, 先進事例紹介(秦野市), 市の取組紹介パネル討論	(210人参加)
平成27年5月26日~7月30日	これからの公共施設の在り方を考える市民意見交換会(全10回)	公共施設保有最適化・長寿命化長期計画の説明及び中期・実施計画に反映させる市内30地区の地元意見を把握	30地区(385人参加)
平成27年6月12日~9月30日	これからの公共施設の在り方を考える出前講座設置	盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化長期計画の概要について	-
平成27年10月15日	広報もりおか(平成27年10月15日号2,3P)掲載	公共施設保有最適化・長寿命化中期計画(案) (個別施設の方向性, 長寿命化工事の実施時期などを周知)	
平成27年11月4~28日	市民説明会開催(全10回)	公共施設保有最適化・長寿命化中期計画(案)に係る市民説明会	(365人参加)
平成27年12月7~25日	指定管理者説明会(全15回)	公共施設保有最適化・長寿命化中期計画(案)に係る指定管理者説明会	17管理者, 57施設, 14課
平成27年12月2, 15, 18, 21日	市民説明会随時開催(4団体)	成人のつどい実行委員会, 仙北地区社会教育福祉推進会, 岩手県立大学総合政策学部生, 好摩地区福祉推進会	
平成27年12月7~28日	パブリックコメント実施	公共施設保有最適化・長寿命化中期計画(案)のパブリックコメントを実施	
平成28年2月(予定)		公共施設保有最適化・長寿命化中期計画の策定	

IV 住民の合意形成で留意したこと

○住民と問題意識を共有する。

- ・総論の段階で、しっかり地域説明を行う(町内会長等動員)。
- ・総論と各論とで段階を分ける。

○住民の意見を聞いてから、市で案をつくる。

- ・市民討議会(利害関係者が入らないで議論)

↳ 長期計画案(施設用途別方針)

- ・市民意見交換会(地区毎に地域の方々の意見)

↳ ※一部の声の大きい人の発言のみにならないように(用紙記入等)
中期計画案(個別施設の方向性)

○個別施設計画案の地域説明会(各論をぶつける)

- ・何度でも出向く姿勢
- ・2度目は、財政制約と対案を提示(地域に選択肢を)

V おわりに

盛岡市の各種取組は、ホームページ等で公表しております。

[○盛岡市トップページ](#)、[市市政情報](#)、[市の政策・企画](#)、[公共施設保有の最適化と長寿命化](#)

<http://www.city.morioka.iwate.jp/machizukuri/28638/index.html>

- ・公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針
- ・公共施設の利用運営状況 ー施設カルテー
- ・盛岡市まちづくり市民討議会 市民提言書・実施報告書
- ・公共施設等マネジメント推進会議結果
- ・公共施設等総合管理計画
- ・公共施設保有最適化・長寿命化長期計画
- ・市民フォーラム開催結果
- ・市民意見交換会報告書(地区別の意見内容)
- ・公共施設保有最適化・長寿命化中期計画
- ・市民説明会等開催結果
- ・公共施設保有最適化・長寿命化実施計画

[○市の政策・企画](#)、[大学等との連携によるシンクタンク事業](#)、[盛岡市まちづくり研究所の研究成果](#)

- ・平成23年度研究報告書「アセットマネジメントによる公有資産保有の在り方について」

[○内閣府ホーム 内閣府の政策](#) > [経済財政政策](#) > [経済財政諮問会議](#) > [専門調査会情報等](#) > [「選択する未来」委員会](#) > [地域の未来ワーキング・グループ](#) > [第6回会議資料](#)

- ・公共施設マネジメントにおける市民討議会の活用

～御清聴ありがとうございました～